



東京学芸大学附属図書館

Tokyo Gakugei University Library

令和6年度国立大学図書館協会賞

「デジタル書架ギャラリー」の 取り組み

東京学芸大学 総務部 学術情報課 利用者サービス係

真家 美咲

東京学芸大学について

国立の教員養成系単科大学

- 所在地
東京都小金井市
- 学生数 ※2024年5月現在
5,365名
- 教職員数 ※2023年5月現在
835名
- 附属学校・幼稚園
11校園



東京学芸大学正門

東京学芸大学附属図書館の概要

- 職員数: 25名 *うち正規職員13名
- 蔵書数: 図書 約91万冊
雑誌 約1万2千タイトル
* 教育分野の資料が充実



附属図書館公式キャラクター
まなぶんぶん



附属図書館公式X
[https://twitter.com/gakugei lib](https://twitter.com/gakugei_lib)



東京学芸大学附属図書館
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

Möbius Open Library (略称:MOL)



MOL<もる>は図書館と知の未来について考える東京学芸大Explayground推進機構のラボの一つ。

知を蓄えて整理する仕組み(=図書館)と、知を取り込んで新しい知を生み出す活動(=学び)の関係を思いつつ、知を取り巻く新しい仕組みや活動のあり方を考えていきます。

EXPLAYGROUND



[mol | note](#)

2019年9月活動開始

Concept

Möbius Open Library



「知の循環」の再構築

附属図書館の近年のプロジェクト

- ・電子ブックの拡充
- ・デジタル教科書の拡充

デジタル書架ギャラリー

- ・公式ウェブサイトのリニューアル
- ・教員を目指す学芸大生のためのウェブサイト(E-TOPIA)の公開
- ・附属学校図書館コーナーの設置

- ・ラーニングコモンズ再編

- ・図書館ガイダンス(情報リテラシー教育)の再編

整理

- ・学芸大総合目録(GAKUMOPAC)の公開

保存

- ・デジタルアーカイブ(教育コンテンツアーカイブ)のリニューアル

提供

- ・貴重資料電子展示の実施
- ・電子ブックの利用促進
- ・館内図書展示の充実
- ・学芸本ガチャ！

吸収

学習
学術

活用

- ・学校教材発掘プロジェクト
- ・デジタルアーカイブ活用のワークショップ開催

創出

- ・学習サポータの展示・セミナー

発信

- ・公式X(旧Twitter)の開始

- ・デジタル教科書の利用促進



デジタル書架ギャラリーとは

2020年6月に図書館の書架画像をウェブで公開し、オンライン上でブラウジングができるようにしたページ



画像をクリックして
拡大



書名や請求記号を
読み取れます！

デジタル書架ギャラリーページ
(<https://lib.u-gakugei.ac.jp/mol/shoka>)

3D書架とは

- 東京学芸大Explayground 推進機構の協力により、Unityで作成
- 「遊び」ながら、在宅でも図書館にいるかのような体験を
してもらいたいと考え作成
- 空中に表示される分類の見出し
のように現実には存在しない
ナビゲーションも可能



EXPLAYGROUND

3D書架
(<https://digital-library.net/3d-library3/index.html>)

公開の背景

緊急事態宣言発令

- 2020年4月9日から臨時休館

緊急事態宣言解除

- 5月20日から郵送による貸出開始
 - 6月2日から予約取り置き本の貸出開始
- ⇒順次、貸出サービスを再開するも予想よりも貸出件数は伸びず…

【仮説】OPACだけで本を探すのは難しいのでは…？

立ち上げと展開

立ち上げ

- 2020年 6月 「学芸大デジタル書架ギャラリー」公開
*画像はCC BYを付与したオープンデータに
- 2020年10月 書架画像のメタデータをLOD化し、公開

展開

- 2021年 8月 OPACに「本棚を見るボタン」付与
⇒OPACとデジタル書架を連携！
- 2022年 4月 附属学校のデジタル書架を公開
- 2023年 2月～ 他機関との共同研究を開始

取り組みのポイント

- “正確性”よりも“使ってもらおう”ことを重視
⇒とにかく、すぐに使えるものを！
- ブラウジングができるように＝背表紙を読めるように
⇒空間をオンライン化、“見せるだけ”じゃない！
- 網羅するのではなく、ニーズに応える
⇒ひとまず、教育分野(NDC370番台)だけをやろう！

やることに意味がある！とにかくやってみよう！

デジタル書架ギャラリーの作成手順

STEP1. 書架を撮影



実際の撮影風景



iPhoneを使って
撮影しました！



STEP2. 画像をWebサイトで公開



↑ 初期のデジタル書架ギャラリー

Webサイトリニューアル前は、
HTMLとCSSを使って作成！



非来館型サービスでの貸出冊数の変化

- デジタル書架ギャラリー公開前よりも
郵送貸出および予約取り置き本の貸出冊数が増加した

▶1日あたりの平均貸出冊数

公開前:約10冊 → 公開後:約26冊

※公開前…郵送貸出が開始された2020年5月20日から

デジタル書架ギャラリー公開前日の6月24日までの平均

※公開後…予約来館が開始される前までの2020年6月25日～7月1日の平均

**ブラウジングの重要性を再確認！
「棚を見る」ことはオンライン上でも可能！**



反響

- 電子出版アワード2020(日本電子出版協会)
エクセレント・サービス賞

- ▶ プレスリリース

<https://www.jepa.or.jp/pressrelease/20200124/>

- LODチャレンジ2020 教育LOD賞

- ▶ プレスリリース

<https://2020.lodc.jp/awardPressRelease2020.html>

- ▶ デジタル書架LOD

<http://idea.linkdata.org/idea/idea1s2934i>



賞状と盾

取り組みの展開① ～OPACとの連携～

- デジタル書架につながる「本棚を見る」ボタンをOPACに付与
- 図書館で行う探索行動がオンラインで可能に！

東京学芸大学附属図書館
Tokyo Gakugei University Library

通常検索 カテゴリ検索 詳細検索

ブックマーク ログイン English ヘルプ ゲストさん マイライブラリ

< 前へ 12 / 680件 次へ >

トップ画面 > 一覧画面 > 詳細(本学所蔵)

国語教科書の定番教材を検討する！：教科書でつくられる日本人の教養
コクゴ キョウカシヨ ノ テイビン キョウザイ オクントウ スル：キョウカシヨ チツクラレル ニホンジン ノ キョウヨウ 石井正巳編
東京：三弥井書店, 2021.1
[版元ドットコムで内容紹介を見る](#)

関連資料を探す
著者情報
石井, 正巳(1958-) (イシイ, マサミ) [Ishii, Masami, 石井, 正巳]
Get Fulltext

No.	予約人数	刷年	所在	請求記号	資料ID	操作
1	0		図書館 2 F 図書	375.8 MIY	12021000687	本棚を見る 請求書
2			アジア言語・文化研究研	375.8 MIY	12021000225	貸出不可 (研究差長期)

登録 文献管理

詳細情報
刊年 2021

学芸大OPACの資料詳細画面

書架J：美術科教育(375.7)～国語科・国語教育(375.8)

音楽科教育(375.76/Mo24)～国語科・国語教育(375.8/KI63) 国語科・国語教育(375.8/KI63～375.8/SAI) 国語科・国語教育(375.8/SAI～375.82/KAW) 国語科・国語教育(375.82/KIK)～外国語教育(375.89/OTS)

前の書架へ 3D書架へ 次の書架へ

デジタル書架

取り組みの展開② ～附属学校との連携～

2022年には附属学校のデジタル書架ギャラリーを公開！

■附属世田谷中学校デジタル書架ギャラリー

附属世田谷中学校デジタル書架ギャラリー

デジタル書架へのリンク

附属世田谷中学校図書館の書架を日本十進分類ごとに並べました。気になる分類番号をクリックすると書架画像を見ることができます。また、表示された書架画像をクリックすると、拡大表示できます。
※画像は2022年11月14日に撮影したものです。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/shoka/sechu>

■附属小金井小学校デジタル書架ギャラリー

附属小金井小学校デジタル書架ギャラリー

デジタル書架へのリンク

附属小金井小学校図書館の書架を日本十進分類ごとに並べました。気になる分類番号をクリックすると書架画像を見ることができます。また、表示された書架画像をクリックすると、拡大表示できます。これは、東京学芸大Explayground推進機構 MOL の活動の一環として作成しました。
※画像は2023年3月28日に撮影したものです。

※「文庫・新書」は主に9類（文学）の予定です。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/mol/shoka/kinsho>

学びの場としての学校図書館の一端を見ることができるよう！

取り組みの展開③ ～他機関との共同研究～

2022年に南山大学・浅石卓真先生よりお声がけがあり、南山大学・京セラコミュニケーションシステム株式会社との共同研究に発展！

■BookReach(ブックリーチ) 学校司書支援データベース

<特徴>

- ・教科書の単元からその単元に関連する本を検索できる
- ・検索結果を書誌情報、書影、背表紙、3D書架の4種類で表示できる
- ・実際の授業支援の事例を登録・閲覧できる

BookReach
学校図書館による教材図書提供を支援するアプリケーション

単元探索
自館や連携図書館の蔵書から教科書の単元に関連した図書を探索します。

事例一覧
BookReachで作成された図書提供事例を閲覧します。

先生と司書のみなさんの間をつなぎます
「授業で本を使いたいが、本校でどんな本が使えるかわからない。」
「先生に頼まれて図書リストを作っているが、授業内容がよくわからない。」
学校図書館を活用できる場面で、専門性の違いから生まれる難しさをサポートします。

BookReach
(<https://bookreach.org/>)

AIを活用したデジタル書架の作成

京セラコミュニケーションシステムの「SHELF EYE(シェルフアイ)」というAI蔵書管理サポートサービスを使って、BookReachに背表紙表示機能(デジタル書架)を実装

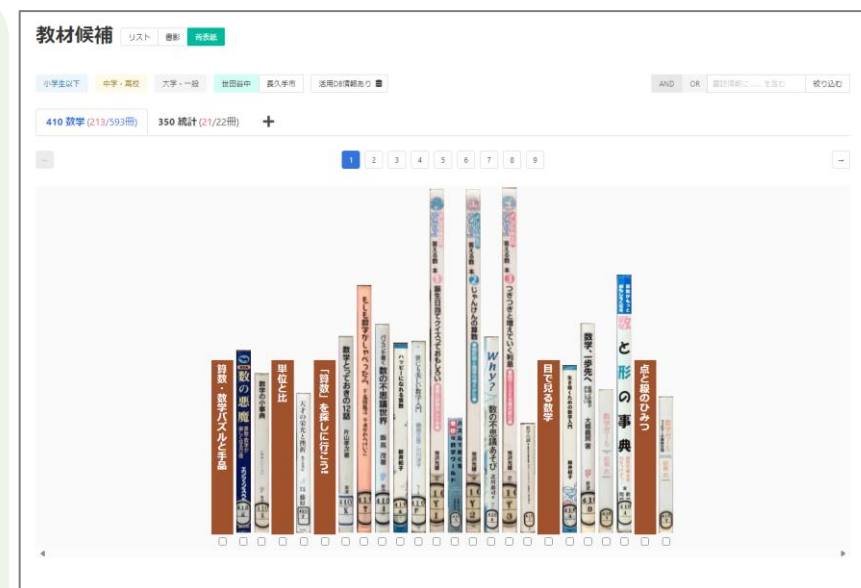
■ 附属世田谷中学校での作業風景



①タブレットで本棚を撮影



②背表紙画像とISBNを紐付け



BookReachの背表紙表示

高度化する3D書架

- Explayground協力のもと、京セラコミュニケーションシステムが附属世田谷中学校の3D書架を作成し、BookReachに実装
- 書架だけでなく、カウンターや展示棚など図書館の空間も再現



BookReachの3D書架表示(附属世田谷中学校)

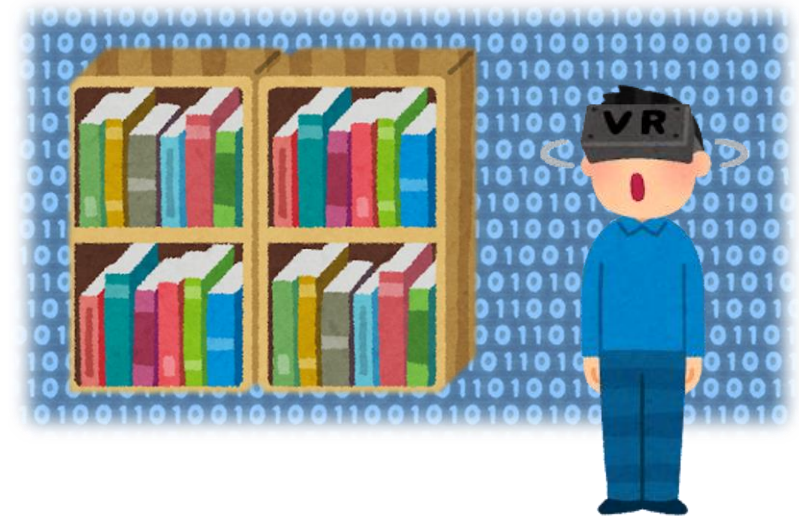
取り組みの振り返り

- 利用者の行動を評価し、それをもとに新たなサービスを始め、その後も展開・拡張できた
- “未来の図書館”を考えるきっかけになった
- コロナがきっかけで始めたが、コロナ禍が収束した“今”、何ができるか考えていきたい

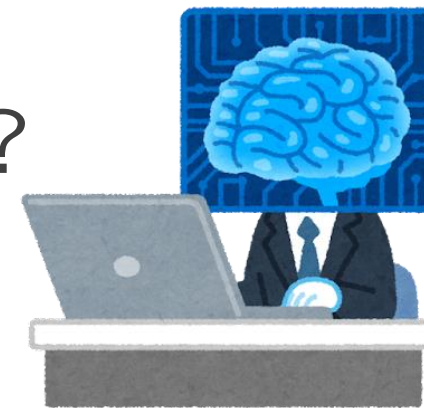


今後やってみみたいこと

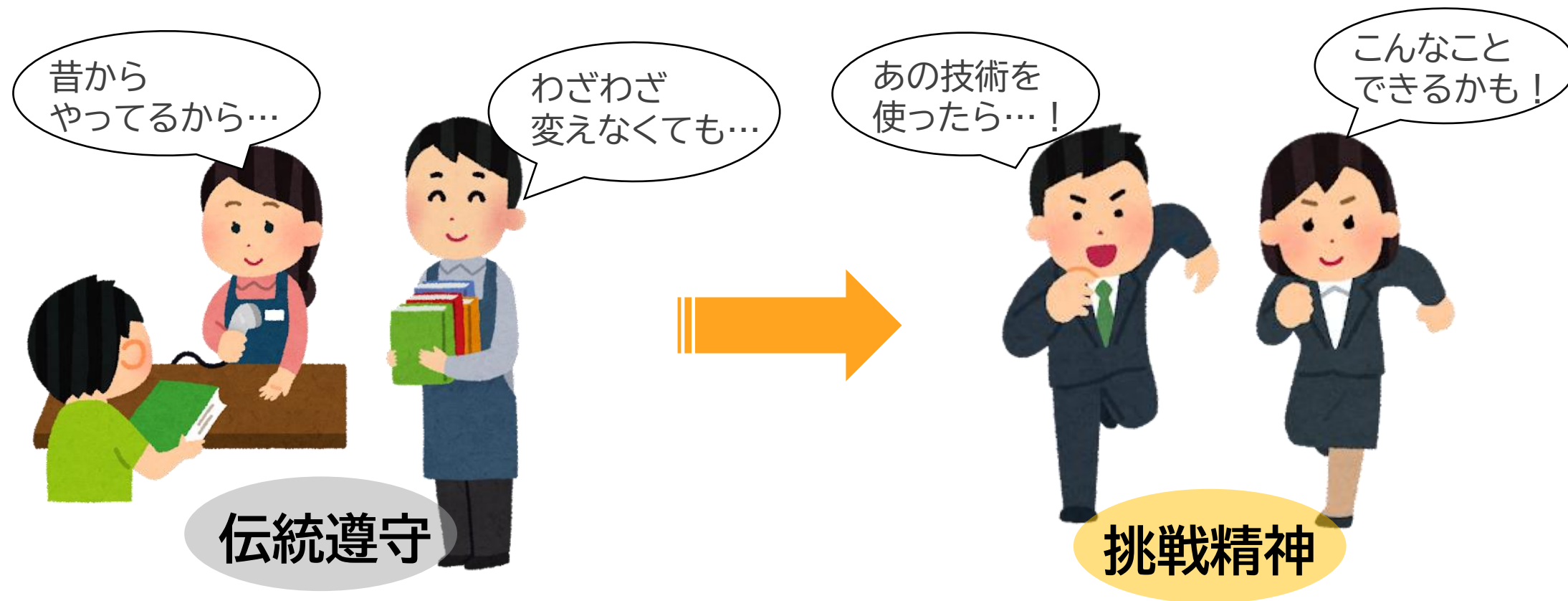
- 3D書架での視線追尾実験
⇒バーチャル空間では、
本をどのように探すのだろうか？



- 生成AIを使った取り組み
⇒ChatGPTにレファレンスはできるのか？



若手職員の思い…



伝統にとらわれない考え方・活動をしていきたい！



Library of the Year 2023にて
優秀賞を受賞しました！！

東京学芸大学とMOLは 未来の図書館を目指しています！

